



情報活用能力を育成するために、コンピュータ活用という視点で、学習活動において必要となったり学習活動を通して育成したりする資質・能力や具体的な技能等について整理しました。(参考:「小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説」P.50~51)



資質・能力	情報の収集			情報の整理・比較	情報の発信・伝達			情報の保存・共有				情報手段(コンピュータ等)の基本的な操作の習得				プログラムの作成
	写真撮影	動画撮影	インターネット検索	表やグラフの作成	文書作成	スライド作成	動画作成・編集	画像や動画の保存	作成したデータの保存	画像や動画の共有・送信	作成したデータの共有	計算ソフト(タブレット)操作	文字入力	文書作成ソフトの操作	表計算・グラフ作成ソフトの操作	プログラムの作成
具体的な技能等																
1・2年 ※タブレット端末	○							○				○				
<p>1・2年生では、タブレット端末を活用します。カメラ機能を使った生活科(季節の変化や探検の様子撮影)や図画工作科(自分の作品の撮影)の学び、計算ソフトによって計算方法を身に付ける算数科の学びに生かします。</p>																
3・4年 ※ノートPC、タブレット端末	○	○	○	○ (3年:棒グラフ) (4年:折れ線グラフ)	○			○	○	○		○	○	○	○	○
<p>3・4年生からノートPCも活用します。国語科によるローマ字の学びを生かし、キーボード入力、インターネット検索、文書作成について、社会科や総合的な学習の時間と関連して学ぶようにします。算数科や音楽科において、グラフ作成やプログラム作成などに取り組みます。また体育科や外国語活動で、タブレット端末を活用して動画を撮影し確認することで、自分の表現を客観的に見たり振り返ったりすることができるようにします。</p>																
5・6年 ※ノートPC、タブレット端末	○	○	○	○ (5年:円・帯グラフ) (6年:柱状グラフ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<p>5・6年生では、これまでの技能等を生かして、子供自身が必要に応じて取組を選択することや、スライド、動画によって効果的にまとめる活動ができるようにします。学習活動の中で、データの管理や蓄積・共有を身に付け、効率的に取り組むことができるようにします。</p>																

